

利根町田園環境整備マスタープラン

利 根 町

1. 地域内の環境評価に関する事項

(1) 現況調査

① 地域の概要

利根町は、首都東京から約40Kmという立地条件と、平坦な地形を活かして市街地の形成が進んできましたが、現在も農業地域の環境は比較的良く保存されており、利根川に代表される水と緑の豊かな町の姿を維持しています。

また、町の総面積は24.9k㎡で、その約56%が農地となっており、主に町東部を中心に広がっています。これらの多くは、優良農地として保全に努めているほか、土地改良事業等の農業基盤整備も進められております。

② 自然環境

【気象】

利根町の気候は、比較的温暖で、年間降水量は約1350mmで冬期の積雪は少ない。風は夏季は南東、冬季は北西の風が強い。

【地形】

標高3～5mの水田や市街地が広がる低地部と標高20～25m程の台地により構成されており、その中央部を新利根川が東西に流れている。

【地質】

台地部の地質は海成堆積層と関東ローム層と呼ばれる火山灰層からなっている。低地部は砂・粘土互層～海成粘土～砂層～砂・粘土互層のサイクルで堆積した沖積層が広く分布している。

【水環境】

利根町は、利根川をはじめ小貝川、新利根川などの河川が流れ、豊かな自然環境に恵まれている反面、水害に悩まされてきた町でもあります。このため、河川の整備は、町民生活の安全の確保にとって重要な課題です。

特に、都市化の進展により雨水の流出量が増大しているため、新利根川の排水能力に限界が生じており、河川改修や遊水地計画に基づいた整備の早期完成が望まれます。

【植物】

台地は、宅地開発が行われているが一部には杉、松などの樹木が育っている。

低地の水辺には、ガマ、ヨシ等が見られる。

【動物】

鳥類では、キジバト、ホウジロ、メジロ等を見ることができる。
ほ乳動物では、たぬき、イタチ等を見ることができる。

【昆虫類】

昆虫類ではカブトムシ、クワガタ、カタツムリ、トンボが見られる。

【魚類】

魚類では、ヘラブナ、マブナ、コイ、ブラックバス、ドジョウ、ウナギ等を見ることができる。

③ 社会環境

【地域指定】

公園・緑地等の地域指定状況
指定なし

農業関連の地域指定状況

利根町農業振興地域（昭和45年農業振興地域の整備に関する法律）

【観光レクリエーション】

観光資源としては、旧役場の敷地に、柳田国男が少年期を過ごした旧小川家の土蔵と復元した母屋に庭園を添えた柳田国男記念公苑をはじめ、徳満寺、来見寺等があります。

また、新利根川沿線を整備し、利根親水公園と併せて、水と自然とふれあうレクリエーション施設の計画があります。

【土地利用】

単価：ha, %

	総面積	田	畑	山林・原野	その他
面積	2490	1143	255	86	1006
構成比率	100	45.9	10.2	3.5	40.4

【歴史】

利根町には、花輪台貝塚に代表されるいくつかの貝塚があり、この地が古くから人の住む地として優れた環境であったことがう

かがわれます。江戸時代には、利根川水運の河岸場として、また、江戸から水戸方面へ通じる佐竹街道の要衝としても栄えた町です。

一方で、河川沿いの町の宿命としてたび重なる水害に悩まされ、その解決には不断の努力が払われてきました。

昭和30年、布川町、文村、文間村、東文間村の1町3村が合併して利根町が誕生しましたが高度成長における全国的な人口や産業の大都市集中のなかで、若年層を中心に多くの町民が東京をはじめ、町外へと流出していきました。

しかし、昭和40年代後半以降、栄橋の架け替え及び県道千葉竜ヶ崎線バイパスの完成を契機に都市化の波が押し寄せ、次々と住宅団地が開発されて、町は住宅地の様相を強めていきました。

(2) 環境評価（現状と課題）

【自然環境】

利根川、新利根川等の河川を中心とした美しい水辺の環境を有し、県の緑地環境保全地域に指定されている神社境内の樹林等、都市化が進展するなか多くの緑が残されているなど、水と緑の豊かな自然環境に恵まれています。

【社会環境】

ライフスタイルの多様化や、これに伴う住民ニーズに対応したスポーツ・レクリエーション等、様々な活動が行える特色ある公園を中田切地先に整備するなど、公園を整備拡充していくことが求められています。

【生活環境】

ごみ問題や公害などは、地球規模の環境問題として深刻化してきており、その解決には、個人、地域レベルからの対応が求められています。今後は、地球環境問題も視野に入れた環境にやさしい社会を目指し、省資源・省エネルギーの視点に立って、快適な環境を形成していく必要があります。

2. 環境保全の基本的な考え方

【自然環境】

自然の生態系への配慮をするなど、人と自然の共生を念頭に、利根川、新利根川や緑地の水辺等の豊かな自然環境を活かした、町民の憩いの場となる公園・緑地の整備を進めるとともに、里親制度の構築等、住民が参画できるような施策を推進していきます。

【社会環境】

緑の持つ機能をより効果的なものにするため、公園・緑地等にとどまらず河川や農地、民有地等を含む幅広い対象について、体系的に保全整備を進めるための基本となる、緑とオープンスペースの計画づくりを検討していきます。

【生活環境】

各種の広報活動を通じて、省エネルギー、省資源や環境保全に対する意識の啓発を行うとともに、クリーンエネルギーの利用についても検討し、環境にやさしい社会の形成を目指します。

3. 地域の整備計画

第5次利根町総合振興計画と整合性を図る。

キャッチフレーズ「ともに創ろう みんなが住みたくなるまち とね」

基本施策①安全で人にやさしい快適なまちづくり

- ・快適な住環境の整備
- ・環境対策の充実
- ・道路・交通網の整備
- ・安全で自然環境にやさしい上下水道の管理運営
- ・防犯対策の充実
- ・防犯・交通安全の充実

②いつまでも健康で元気あふれるまちづくり

- ・健康づくりの推進
- ・支え合う福祉の推進
- ・みんなを支える社会保障制度の充実

③誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり

- ・子育て環境の充実
- ・特色ある学校教育の推進
- ・学びやすい生涯学習環境の整備
- ・参加しやすい文化・スポーツ環境の整備

④みんなが集まるおもしろいまちづくり

- ・魅力ある農業振興
- ・地域特性を活かした商工業の育成
- ・活気あふれる交流・観光の推進

⑤みんなが主役でともに進むまちづくり

- ・町民参加体制の充実

- ・誰もが尊重される環境の整備
- ・町民参加を進める広報・広聴の推進
- ・効果的・効率的な行財政運営の推進

4. 環境保全目標・基本方針

豊かな田園環境は、利根町の貴重な財産であり、一面に広がる水田と集落によって形成される田園環境を大切にし、次世代を担う子供たちに引き継いでいく。

そのため、田園環境を住民全体の宝物、原風景として、保全、活用するとともに、これを舞台として河川や水路、道路を軸に公園、緑地などとネットワークして、水と緑の豊かなまちづくりを推進していく方針である。

5. 農業農村整備事業における整備計画

区 域	図	事 業	地区名	予定工期	内容
環境創造	①	水環境整備事業	中 谷		
環境配慮	②	経営体育成基盤整備事業	利 根	H 3 ~	
	③	経営体育成基盤整備事業	利根北部	H 2 1 ~	
	④	経営体育成基盤整備事業	利根西部	H 3 0 ~	
	⑤	経営体育成基盤整備事業	利根南部	R 3 ~	
	⑥	地盤沈下対策事業	豊田南用水	H 1 3 ~	
	⑦	湛水防除事業	利根東部		
	⑧	元気な地域づくり交付金	布 川	H 1 9 ~	